

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	緑内障の structure-function に関する研究
研究責任者	眼科 朝岡亮
研究実施体制	尾花明 聖隷浜松病院 眼科 アイセンター長 郷渡有子 聖隷浜松病院 眼科 主任医長 石井香利 聖隷浜松病院 眼科 医師 中澤理紗 聖隷浜松病院 眼科 医師 高柳佑二 聖隷浜松病院 眼科 医師 守山貴宣 聖隷浜松病院 眼科 視能訓練士 藤野友里 聖隷浜松病院 眼科 視能訓練士 谷戸正樹 島根大学医学部付属病院 眼科 教授
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2029年 3月 31日
対象者	緑内障、白内障で当院で検査された方。
研究の意義・目的	緑内障では光干渉断層計により網膜層厚の測定が行われます。網膜層厚の中でも網膜神経線維層厚や神経節細胞層厚は緑内障の進行に直結するものです。最近ニデック株式会社ではこれらの層厚を特定するアルゴリズムを改良し、より正しい測定が可能になりました。本研究の目的は、このことによる、網膜神経線維層厚や神経節細胞層厚と視野感度との structure-function の改善を検討することです。
研究の方法	光干渉断層計で測定された網膜神経線維層厚や神経節細胞層厚と静的視野感度との関連を解析します。この際にはこれまで測定された光干渉断層計によるスキャンデータを連結可能な匿名化を行った後、光干渉断層計製造会社に送付し、新しいアルゴリズムによる各層厚に変換し、解析に用います。同様のデータは島根大学医学部付属病院でも収集され、連結可能な匿名化を施行のち聖隷浜松病院眼科に送付され、統合解析されます。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 眼科 (氏名) 朝岡亮

